

「台風クラブ」  
雨が降っても、傘はささない。  
「東京上空いらっしやいませ」  
雨が降らなくても、傘はさす。



写真 佐野 篤

### 相米 慎二 Sohmai Shinji

1948年1月13日、岩手県盛岡市で生まれた。父親の転勤で6歳の時に北海道標茶町に転居し、1958年に父親を失う。その後小学校5年の時に札幌市、中学3年の時に釧路市に移る。北海道釧路江南高等学校を卒業し、中央大学文学部に進学、1972年同大を中退、長谷川和彦の口利きで契約助監督として日活撮影所に入所した。長谷川や曽根中生、寺山修司の元で主にロマンポルノの助監督を務めた。助監督時代には杉田 二郎のペンネームも用いている。1976年にフリーランスとなる。

1980年、業師丸ひろ子主演の「翔んだカップル」で映画監督としてデビューした。翌1981年、「セーラー服と機関銃」で興行的な成功を収めた。1982年6月、長谷川和彦、根岸吉太郎、黒沢清ら若手監督9人による企画・制作会社「ディレクターズ・カンパニー」（ディレカン）を設立。1983年には吉村昭原作の「魚影の群れ」を発表。1985年の「台風クラブ」は第1回東京国際映画祭（ヤングシネマ）でグランプリを受賞し、キネマ旬報「オールタイムベスト・ベスト100」日本映画編（1999年版）の55位にランクインしている。同年、斉藤由貴の映画デビュー作となった「雪の断章—情熱—」を監督した。また、同年のロマンポルノ作品「ラブホテル」は大きな反響を呼んだ。

その後、1993年の「お引越し」で芸術選奨文部大臣賞を受賞。同作は第46回カンヌ国際映画祭のある視点部門に出品された。翌1994年には湯本香樹実原作の「夏の庭 The Friends」を発表。湯本に原作小説を執筆するように勧めたのも相米監督であった。1998年の「あ、春」は1999年度キネマ旬報ベストテンの第1位に選出されたほか、第49回ベルリン国際映画祭で国際映画批評家連盟賞を受賞した。2001年、小泉今日子主演の「風花」を発表。一方で、1985年より数々のCMの演出を手がけ、また1991年と1993年には三枝成彰作曲のオペラ「千の記憶の物語」の演出を担当している。

2001年10月には舞台初演出となる「Defiled」の上演、また翌2002年には自身初の時代劇での監督作品となる浅田次郎原作の「壬生義士伝」の映画化作品のクランクインを予定していたが、2001年6月、体調不良のため病院で検査を受けて肺癌を告知され、同年8月中旬より療養生活を送り、同年9月5日に容体が急変して9月9日16時10分に神奈川県伊勢原市の病院で死去した。53歳没。同年1月公開の「風花」が遺作となった。葬儀は9月14日に築地本願寺にて営まれた。

没後は青森県三戸郡田子町相米地区にある先祖代々の墓に埋葬され、同地区には「相米慎二慰霊碑」が建立された。同町では2014年より、相米慎二を語りつぐ会による「相米慎二監督映画祭り」が開催されている。

## 作家主義 相米 慎二

# 没後20年 作家主義 相米 慎二

アジアが見た、その映像世界

相米慎二は、こんなに遠くまで行った。

2021年2月6日(土) - 19日(金)

渋谷 ユーロスペース

全監督13作品 + 1  
完全上映

- 1980 翔んだカップル
- 1981 セーラー服と機関銃
- 1983 ションベン・ライダー
- 魚影の群れ
- 1985 ラブホテル
- 台風クラブ
- 雪の断章—情熱—
- 1987 光る女
- 1990 東京上空いらっしやいませ
- 1993 お引越し
- 1994 夏の庭 The Friends
- 1998 あ、春
- 2001 風花

[プロデュース作品]  
1993 空がこんなに青いわけがない

\*各作品の上映スケジュール、イベントの詳細については、  
公式サイト (<https://apeople.world/sohmaishinji/>) で確認してください

企画・主催：A PEOPLE CINEMA 会場・運営：ユーロスペース  
特別協力：ムスタッシュ 中央映画貿易

 文化庁委託事業「文化芸術収益力強化事業」





80年代、90年代、2001年を駆け抜けた魂が、いま、新たなステージに

2001年9月11日、アメリカ同時多発テロが発生。その2日前、9月9日、映画監督・相米慎二が逝った。あれから20年――。

その世界的な評価は遅れていると言われていたが、2012年にナント映画祭（フランス）、エディンバラ映画祭（イギリス）、シネマテーク（パリ）、2015年にはフランクフルト映画祭（ドイツ）などで、次々とレトロスペクティブが行われた。

2005年、全州（チョンジュ）映画祭（韓国）で行われた回顧上映で衝撃が流れた。そして、2021年、アジアでの再評価の波が来る。韓国映画「はちどり」は、本国はもちろん日本でも異例のヒットを記録。数年前には、台湾のエドワード・ヤン「牯嶺街（クーリンチュエ）少年殺人事件」のリバイバルが大成功を収めた。デジタルの時代、コロナ禍の時代、新たな映画の方法が求められている。アジア映画がもつ、荒々しさ、凶暴性。それを考えたとき、作家・相米慎二という名前が浮かぶ。アジアの作家や俳優、評論家がいま、相米慎二を改めて発見しようとしている。期間中には、アジアの監督らとのオンライントークを実施。もちろん、相米映画を知る日本の関係者のトークショーも予定している。

日本でもまた、相米慎二を発見しよう。いま、日本に相米慎二のような作家は存在しているのだろうか。80年代を生き延びた猛犸。90年代を生き延びた繊細さ。そして、2001年（21世紀）に残したたった一本の別れの挨拶。

「没後20年 作家主義 相米慎二〜アジアが見た、その映像世界。デビュー作「翔んだカップル」から遺作「風花」までの全監督作品13作。さらに共同プロデュース作品1本を上映。

いま、作家・相米慎二が、ここにいる。

1  
9  
8  
0

翔んだカップル

脚本：丸山昇一 撮影：水野尾信正  
出演：鶴見辰吾/薬師丸ひろ子/尾美としのり



© TOHO CO., LTD.

柳沢きみおの同名コミックを映画化。ひとつ屋根の下で暮らすことになった高校生のふたり。相米慎二のデビュー作であると共に、独自の長回しに注目が。"もぐら叩き"など数々の名シーンが印象に残る。

1  
9  
8  
1

セーラー服と機関銃

脚本：田中陽造 撮影：仙元誠三  
出演：薬師丸ひろ子/渡瀬恒彦



© KADOKAWA 1981

赤川次郎の同名小説を映画化。突然、やくざの組長になってしまった女子高生。クレーンで吊るされるヒロイン、語り継がれるバイクの長回しシーンなど、アイドル映画という枠組みを超えた超絶演出の数々。

1  
9  
8  
3

ショーンベン・ライダー

脚本：西岡琢也/チエコ・シュレイダー  
出演：藤竜也/河合美智子/永瀬正敏



© 1983 kittyfilm

レナード・シュレイダーの原案を脚本化。撮影は田村正毅、伊藤昭裕。目の前で誘拐されたガキ大将を追う三人組。「セーラー服」の興行的成功からより過剰に。社絶な貯木場のシーンはあまりにも有名。

1  
9  
8  
3

魚影の群れ

脚本：田中陽造 撮影：長沼六男  
出演：緒形拳/夏目雅子/十朱幸代/佐藤浩市



© 1983松竹株式会社

吉村昭の同名小説を映画化。少年少女を描いてきた相米が大人の映画に挑んだ。ベテラン漁師と娘、彼女に想いを寄せる青年。ひっかかった"まぐろ"と格闘する緒形拳、その後ろにいる佐藤浩市、映像の極限へ。

1  
9  
8  
5

ラブホテル

脚本：石井隆 撮影：篠田昇  
出演：速水典子/寺田農



© 日活

相米が念願の"にっかつロマンポルノ"に挑戦。2年前に出逢ったホテル嬢と再会した男。後に岩井俊二作品で知られる篠田昇の第1作。山口百恵「夜へ」、もんだ&ブラザーズ「赤いアンブレラ」が鮮烈。

1  
9  
8  
5

台風クラブ

脚本：加藤祐司 撮影：伊藤昭裕  
出演：三上祐一/工藤夕貴/三浦友和



© ディレクターズカンパニー

東京国際映画祭・ヤングシネマグランプリ作品。審査委員長、ベルナルド・ベルトルッチが絶賛。台風の日の校舎に閉じ込められた少年と少女。三浦友和が当時のイメージを大きく変えた作品としても印象的。

1  
9  
8  
5

雪の断章 一情熱一

脚本：田中陽造 撮影：五十畑幸勇  
出演：斉藤由貴/榎本孝明/世良公則



© TOHO CO., LTD.

佐々木丸美の「孤児4部作」の1作目の映画化。斉藤由貴の映画デビュー作。さまよっていたみなし子と、保護した男、それから10年後。冒頭の長回しシーンは相米の長回しの中でも想像を絶する凄さ。

アジアの作家がオンライントークで、相米を語る。  
ホアン・シー監督(台湾)の出演決定

1  
9  
8  
7

光る女

脚本：田中陽造 撮影：長沼六男  
出演：武藤敏司/安田成美/秋吉満ちる



© 1987 ヤングシネマ 85共同事業体/角川映画

小椋山博の同名小説を映画化。北海道から上京した野人のような青年が、オペラ歌手の女と出逢う。後に「千の記憶の物語」でオペラを演出することになる相米。その新たな創造的な世界観が現れた一作。

1  
9  
9  
0

東京上空いらっしゃいませ

脚本：榎祐平(榎望) 撮影：稲垣涌三  
出演：中井貴一/牧瀬里穂/笑福亭鶴瓶



© 1990 イール・トゥエンティワン/バンダイビジュアル/松竹

牧瀬里穂のデビュー作。CMのキャンペーンガールに抜擢された少女が事故で死亡。しかし、死神を言いくるめて、少女は地上に戻る。「帰れない二人」のリフレインと終盤のミュージカルの場面で涙を誘う。

1  
9  
9  
3

お引越し

脚本：奥寺佐渡子/小此木聡 撮影：栗田豊通  
出演：中井貴一/桜田淳子/田畑智子



© 1993 読売テレビ放送株式会社

ひこ・田中の同名児童文学を映画化。不安定な父母にはさまれた少女、その道行。少女が大人になる「ありがとうございます」のセリフが感動的。国内での評価を高めた一作で、集大成的な作品ともいえる。

1  
9  
9  
4

夏の庭 The Friends

脚本：田中陽造 撮影：篠田昇  
出演：三國連太郎/坂田直樹/王泰貴/牧野竜一



© 1994 読売テレビ放送株式会社

湯本香樹実の同名小説を映画化。サッカー少年3人組が死を目撃したいと思い、老人の観察をはじめ。相米が新たなフェーズに挑戦したといえるテイスト。相米作品2作品目となる篠田昇の撮影が秀逸。

1  
9  
9  
8

あ、春

脚本：中島丈博 撮影：長沼六男  
出演：佐藤浩市/斉藤由貴/金貴美子/原知佐子



© 1998 トラム/松竹/衛星劇場

村上政彦の原作「ナイスボール」を脚本化。昔、死別したと聞かされていた父が現れ、一緒に暮らす一家。相米オールスターズの競演。キネ旬1位獲得、ベルリン国際映画祭で国際映画批評家連盟賞を受賞。

2  
0  
0  
1

風花

脚本：森らいみ 撮影：町田博  
出演：小泉今日子/浅野忠信/麻生久美子



鳴海章の同名小説を映画化。若手官僚とピンサロ嬢の出逢い。女の故郷、北海道へとふたりは旅へ出る。本作公開後、相米が死去。遺作となった。企画の発案は、相米本人からのものだったという。

1  
9  
9  
3

空がこんなに青いわけがない

監督：柄本明 脚本：田村和義 撮影：柳島克己  
出演：三浦友和/夏川結衣



© 1993 オフィス・シロタス/アントリー

相米慎二が共同プロデュースを手掛けた一作。相米自らが「お前が撮れ」と柄本明に直接依頼したという。俳優・柄本明の初の監督作品。商社会社のサラリーマンの会社や家庭で起こるさまざまな波紋。



いま、日本に  
相米慎二のような  
「映画作家」はいるのか。  
その、荒々しさ。  
その、深さ。  
その、美しさ。  
その、真実。

ニッポンの関係者がオンライントークで、相米を語る。  
佐藤浩市、永瀬正敏の出演が決定